

先日、皆様にご案内しました通り、同窓会では創立30年を記念して30周年記念事業を企画、10月17日(土)名古屋 Hiltonホテル5F金庫の間にて開催しました。お陰を持ちまして、450名を超える同窓生に参加をいただき無事終了することが出来ました。

本誌中面に詳しい内容やスナップ写真を紹介しています。



名古屋学院大学同窓会 30周年記念事業(講演会・懇親会) 盛大に開催される



満席の記念文化講演会

渡部昇一氏をお迎えして

10月17日(土)当日、名古屋地方は一時激しい雨に見舞われました。が、受付開始の午後3時半には雨もやみ、続々と同窓生、関係者らが詰めかけ、広いホールにギッシリと埋められた椅子は満席に。午後4時、開会の辞、占部同窓会会長の挨拶で記念事業は幕を閉じました。



▲上智大学教授 渡部 昇一氏

同窓会主催初の大 きな事業にふさわしく、文化講演会講師としてお招きしたのは上智大学教授で著述家でもある渡部昇一氏。渡部氏は「知的生活の方法」や「勝つ生き方、負ける生き方」等多くの著作を持ち、またテレビ東京系「渡部昇一 新世紀談話」のホストとして活躍。日曜朝の顔として良くご存知の方も多いでしょう。講師が著名な渡部氏ということで、般公募による講演会受講希望者は定員の400名をはるかに超え、900名以上の申し込みが殺到する人気ぶり。やむなく抽選で受講者を限らせていただくという、嬉しい悲鳴をあげる事態にもなりました。

講演は「これからの日本の生きる道」と題し、景気低迷が続く日本の現状に鋭い切り口をあて、グローバルな視点で経済をとらえた私評をいただきました。現在のわが国の状況を明治維新に例え、歴史上のエピソードを豊富に盛り込んだわかりやすい講演に、参加者は熱心に聴き入っていました。また、時折交えられるユーモアに会場は笑いに溢れ、1時間半におよぶ講演も短く感じるほどでした。



同窓会会長
占部 憲一

紅葉の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のことと推察いたします。

母校、名古屋学院大学は昨年大学院を設立し、新しい大学院棟、副業館にて講義を開始し、また、名古屋の栄にあります中日ビルにて社会人のための講義施設、栄サテライトを新設し、体制もますます充実してまいりました。

同窓会も二万五千名を越える会に成長し、本年10月17日に名古屋ヒルトンホテルにおきまして、第一期生が卒業して30年が経過したことを記念し、30周年記念事業を開催いたしました。

記念事業は講演会と懇親会に分け、講演会は、上智大学文学部の教授、渡部昇一先生より「これからの日本の生きる道」という演題で講演を賜りました。この講演会には、般市民の方にも参加いただきよう新聞に広告を掲載したところ、900名を越える応募があり、抽選にて450名に参加いただきました。

また、懇親会におきましては、ご来賓に大学の教員、職員の皆様を始め、大学の理事、評議員、敬愛同窓会の役員にもご出席を賜り400名を越える同窓会員と旧交を温める機会を持つことができました。

この事業がこのように盛大に開催することができましたのは、役員、代議員を始め、多くのクラブの代表の皆様との絶大なご協力の賜物と紙面をお借りして感謝を申し上げます。

今後、機会がある毎に数々の事業を行ってまいりますが、同窓会の活動にご参加ご協力を賜りますようお願いいたします。



理事長
内山 道明

今年の夏は不順な天候でしたが、名古屋学院大学卒業生の皆さんは相変わらず各地でご活躍のこと、うれしく感じます。

先日の30周年記念事業は大変盛大で、心からお慶びいたします。

大学は今、大学院の充実、経済学部の改組、編入定員増、地元との連携強化など、多くの難しい諸問題を抱えています。皆さんのご協力を切に願います次第です。

すでにお気づきのことと思いますが、名古屋学院大学の教学体制は非常に充実し、立派な学者が多くを占めておられます。今後とも、この傾向を強めて参りたいと念願しています。

いうまでもありませんが、大学教育の成果は、卒業された方がどれだけ社会で活躍しておられるかにあって測られます。その意味でも、同窓生の皆さんの社会的なご活躍は私どもの心からの願いです。

同窓生の皆さんのご活躍が、同窓会という組織での切磋琢磨によりご高揚するのはいうまでもありません。二層協力を深め、母校である名古屋学院大学の発展にご貢献いただけるよう切望いたします。



学長
佐藤 自郎

爽やかな季節となりました。同窓生の皆様には益々お元気に各方面においてご活躍の様子、心からお喜び申し上げます。また本年は三十周年を迎えられた同窓会に対しまして心からお祝い申し上げますと共に、この間における卒業生の皆様のなみなならぬご努力の結果が社会における名古屋学院大学の評価を高めていただいたものと、深く感謝申し上げます。同窓会としてのご活動も軌道に乗り、機会あるごとに大学に対しましてご援助をいただきありがとうございます。会長はじめ役員の皆様のご厚労に対しまして心から御礼申し上げます。大学は昨年四月の大学院経済経営研究科(経済学専攻、経営政策専攻)、外国語学研究科(英語学専攻)に続いて、本年四月中国語学専攻を開設することができ、修士課程は完成いたしました。また来春には経済経営研究科の後期(博士課程)の開設準備が進んでおります。

ご承知のとおり、厳しい社会情勢のもとで、卒業してゆく学生諸君が就職を果たしてゆくためには、以前にも増して、本当に社会が求めている人間を育成することが私ども教職員の仕事であると感じ、日々努力しているところであります。単なる表面的な知識、技能の習得のみならず、それを将来予想される様々な局面において活かすことのできる応用力、創造力を備えた人間の育成を目指す必要性を痛感し、建学の精神に基づき豊かな人格と専門知識を備えた学生を社会に送りだそうと心がけております。

また学生諸君にとりて社会とのつながりの一番近い窓口は、何といってもまず同窓生の皆さんです。後輩のため暖かい「助言」ご指導をお願い申し上げますと共に、大学に対しまして、二層のご支援をお願い申し上げます。最後に、同窓会の益々の発展を祈念して、ご挨拶と致します。

HOT NEWS



外国語学部 開設10周年記念式典

外国語学部は本年度、開設10周年を迎えることとなり、これを祝して11月11日(水)午後2時より希望館第3会議室において外国語学部開設10周年記念式典、講演会ならびに思泉館2階にて祝賀会を行いました。

梶原寿外国語学部教授の開式のことばに始まり、式典の冒頭で内山道明理事長と佐藤白朗学長が挨拶。続いて私大連常務理事の大西昭男関西大学理事長、石録中国南開大学教授、占部憲同窓会会長の3氏より祝辞がありました。また、清水外国語学部長より「外国語学部10年の歩み」が披露され、出席者一同外国語学部の軌跡を実感。引続き午後3時からの講演会では、日本言語学会会長柴谷方良氏を講師に迎え、「言語学の研究動向とその課題」と題し、言語学の現状をわかりやすく講演していただきました。午後5時からの祝賀会は、思泉館2階に場所を移し、閉会の時が来るまで各人が思いを語り合い、有意義なひとときを過ごすことができました。

外国語学部の10年を振り返るとともに、今後の10年を考えた時、そこに浮かぶテーマは21世紀のポータルレス化した社会における真の国際人の育成です。国境を越え、拡大する地球時代を目前に控えた今、外国語学部の持つ意義は益々高まることでしょう。本学もこのような背景の中、外国語学部の発展に力を注いでいきます。

教育体制をさらに充実 2年目を迎えた大学院

1997年4月、本学に待望の大学院、経済経営研究科 経済学専攻・経営政策専攻、外国語学研究科 語学専攻が開設されました。また、この4月には、外国語学研究科中国語学専攻も開設され、2研究科4専攻となり、これで学部の学科すべてに大学院修士課程が設置されたことになりました。本学の教育体制の充実は着実にすすんでいます。

● 経済学専攻

経済の理論・政策・財政・金融などの基本科目群を中心に、現代の経済問題の解明に向けた現代経済学、ポリティカルエコノミーなどの選択科目群、思想史と法学をあつかう関連科目群とで構成されています。

● 経営政策専攻

実際に役に立つ経営理論・技法が中心となっているとともに、実務経験者あるいは実社会につながる強い教員が指導にあたっています。1999年度入学者から次の2つのコースに分け、コースを選択することができます。

● 論文コース

(経営者・経営管理者層の高度な経営理論・技法の修得・税理士資格取得をめざす人を主な対象とするプログラム)

● 課題研究コース

(社会人・留学生のみが選択できるコースで、企業等の経営管理者・専門職業人を対象とした本格的MBAプログラム)

● 英語学専攻

英語学および応用言語学の研究を中心に、英語圏の風土や文化について総合的・体系的な研究を深めます。実用的運用能力を備えた言語の専門家や将来言語研究者をめざす人材を育成することを目標としています。

● 中国語学専攻

語学・文学・哲学を3本柱として、「中国事情や」中国経済史」などビジネスマンとしての実用科目が受講できるのも特徴の一つです。

● 昼夜開講制

本学大学院では、経営政策・英語学および中国語学専攻がこの昼夜開講制を実施しており、大きな特徴の一つとなっています。

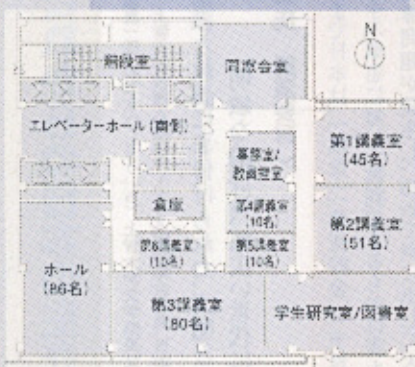
● 教員専修免許状の取得

大学院では、中学校・高等学校の1種免許状を取得している学生が、左記の専修免許状を取得できます。

- 経済学専攻
 - 高等学校教諭専修免許状(公民)
 - 中学校教諭専修免許状(社会)
- 経営政策専攻
 - 高等学校教諭専修免許状(商業)
 - 高等学校教諭専修免許状(英語)
- 英語学専攻
 - 中学校教諭専修免許状(英語)
- 中国語学専攻
 - 高等学校教諭専修免許状(中国語)
 - 中学校教諭専修免許状(中国語)

● 名古屋学院大学さかえサテライト

本学では、昨年、社会人対象として昼夜開講制で開設された大学院経営政策専攻の授業を行うため、名古屋の中心地、栄・中日ビルの「名古屋学院大学さかえサテライト」で行っています。



▲ さかえサテライト



「これからの日本の生きる道」
渡部昇



▲熱心に聴き入る同窓生・教職員・一般の方々

30周年記念懇親会 名古屋学院大学同窓会



「E」の同窓生のみなさん



▲待ちに待った懇親会場へ入場

講演会 「これからの日本の生きる道」

講師 渡部昇氏(わたなべしげい) 上智大学文学部英文学専攻教授
フロンティア上智大学教授・書評家・英米学会会長、日本インテリゲンチヤ協会理事長
広範な知識と教養に裏付けられた、文明と歴史に関する
明敏な論評は、幅広い世代に支持されている

〈渡部昇氏 講演要旨〉

これまで日本は、「税金」「郵便貯金」「予算」の3つをおさえている人蔵省に対し、批判できるものは誰もいなかった。しかし住専問題が発生し、初めて声を出して「大蔵省批判が叫ばれるようになった。絶大な権力の解体、それは明治維新に酷似しているといえる。かつて岩倉具視らは維新後の日本の在り方を「四の五の言っても始まらない、今やるべきは欧化と富国強兵である。」と主張した。今の日本もまさに「四の五の言っている時ではない」状況だといえる。

日本の進むべき方向とは、ユダヤ化することである。世界中に根を張り、様々なビジネスでリードするユダヤ人のようになるべきではないか。歴史的、世界的に見て、日本もユダヤ人の3つの原理(①タローバル化 ②能力第主義 ③契約の徹底)を取り入れざるを得なくなってきた。そして経済市場が一つとなった今、世界中がこの原理から離れられない中で、日本に必要なのは減税である。一つは「所得税率の一律1割化」。最高税率65%の現行所得税では取れない人があまりに多く、35万円しか徴収できていないのが現状である。1割になれば払いやすくなり、逆に確実に50兆円の税収が見込める。そして「相続税廃止」。小さく貧しかったスイスも、相続税を廃止してからは、国民一人当りの所得は高い水準を誇るようになった。

また本来日本のように個人貯蓄の多い国には、ユダヤ人財閥が人づてきでしかるべきだが、税金が高いがゆえに日本の国籍だけは取っていない。減税の効果は、日本がユダヤ人にとって活躍しやすい場となり、日本国籍を取るユダヤ人が増えるという側面も持っている。世界中の金融をおさえている彼らに内を抱えるということは、日本に対する外圧が減り、国際的な地位ががらりと変わることを意味している。

これからの日本の生きる道、それは「減税」、そしてユダヤ人も国籍を取りたがる様になること、これだと考えます。

FEATURES

30周年記念懇親会
名古屋学院大学同窓会



▲久しぶりの友と歓談を楽しむひととき



▲自動車部OBのみなさん



▲華やかに踊る
サンパチーム



▲美声に聴き惚れた
ジャスタイム



▲リズムにのってみんなでダンス



▲ロビーでも談笑の輪に花が咲く

講演終了後、講演会場から懇親会場へとホールが準備される間、ロビーで待機。配られた水割を片手に早々と思ひ出話に花が咲き、またあちらこちらで名刺交換する姿には同窓生の各界での活躍ぶりが感じられました。恩師の先生方も、立派に成長したかつての教え子に囲まれ、嬉しそうに目を細めながら、一人一人と握手を交されたりと、会場準備の間でも和気あいあいと歓談が進んでいました。そんな中、チアホラし聞こえてきたのは「いや、うちも歳いすよ〜」といった声。講演会は不況日本からの脱出がテーマでしたが、まさに景況の厳しさを痛感させられる場面。

お待ちかねの懇親会は、照明が落とされた場内、中央ステージにたつたひとしほらされた30周年記念事業のシンボル「30 NGU」のマークがするすると高く掲げられ、晴れやかにスタート。思わぬ演出に会場から拍手が沸き起こりました。30周年記念事業実行委員会塚本久委員長の開会の辞、占部憲二同窓会長の挨拶に続いて内山道明理事長、佐藤自郎学長からご挨拶をいただいた後は記念品贈呈。占部会長から内山理事長へ日録「友粒苑整備事業 メインストリート工事」式一が手渡され、乾杯後は美味しい料理とドリンクに舌鼓み。長く離れていた先輩後輩が感動の再開を果たし、交流を深めるひとときを和やかに楽しみました。

さらに出席者の方々に充実した時間を過ごしてもらいたいと、盛大なアトラクションも催され、最初のバンドによるジャズ演奏では、黒人ボーカルによる素晴らしい美声に皆酔いしました。ラストナンバーは友と語り合う「同窓会」にのびのびの「STAND BY ME」。ステージ前では友人同士肩を組み、音楽にのって体を揺らしながら歌う同窓生もあり、その思い出は強く心に残ったことと思います。観客とステージが一体になった熱唱にアンコールがかかり、再登場には歓声があがり、アンコール曲ではステージに上がって踊り始める同窓生も出たほど。

同窓会のムードもいよいよ高まり、次に登場したのはキュートな女性5人組のサンパチーム。意外な展開に皆びっくり。しかし、サンパチームのリズムと洗練とした健康美溢れる踊りに次第に引き込まれてしまいました。フロアのあちこちでタンサーに誘い出され、緒にステップを踏む同窓生に周囲も拍手喝采。勢いのついたサンパチームはステージからフロアへ降り、会場内を華やかなサンパで包み込み、最初は戸惑っていた同窓生もだんだん引き込まれて。ついにタンサーが先頭になってダンスの輪が作られ、照れつつも次々と肩に手を掛けて、輪は大きく広がってゆきました。

楽しい時間はと早く間に過ぎるもので、記念事業は大成功のうちに終わり、閉会後も別れを惜しむ人々がロビーに溢れていました。

名古屋学院大学大学院

経済経営研究科

経済学専攻

経営政策専攻(昼夜開講制)

外国語学研究科

英語学専攻(昼夜開講制)

中国語学専攻(昼夜開講制)

経営政策…「課題研究コース」、「論文コース」

夜間・土曜日の授業・栄サテライト(中日ビル7階)

各専攻とも中高教諭専修免許が取得可能

第2期出願期間・試験日

専攻	出願期間	試験日
経済学		1999年2月13日(土)
経営政策	1999年1月22日(金) ～2月8日(月)	1999年2月20日(土)
英語学		1999年2月13日(土)
中国語学		1999年2月13日(土)

● 問い合わせ先(大学院事務室)

TEL 0561-41-3968 FAX 0561-42-0201

現在、130名(内本学出身33名)が学んでいます。

1999年度入試要項

一般入試日程

学部	学科	試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
経済学部	経済	前期	1/9～1/25	2月1日(月)	2月11日(木)
		後期	2/10～2/22	2月27日(土)	3月4日(木)
商学部	商	前期	1/9～1/25	2月2日(火)	2月11日(木)
		後期	2/10～2/22	2月27日(土)	3月4日(木)
		簿記特別	1/9～1/25	2月4日(木)	2月11日(木)
外国語学部	英米語	前期A方式	1/9～1/25	2月4日(木)	2月11日(木)
		前期B方式		2月1日(月)	2月11日(木)
	後期	2/10～2/22	2月27日(土)	3月4日(木)	
	中国語	前期	1/9～1/25	2月2日(火)	2月11日(木)
後期		2/10～2/22	2月27日(土)	3月4日(木)	

推薦入試日程

本年度推薦入試の出願は終了しています。なお、試験日は経済・商学部の特別推薦(指定校・スポーツ)、外国語学部の指定校推薦は11月14日(土)、経済・商学部の一般推薦は11月21日(土)です。

試験会場

●各学部前期入試および商学部簿記特別

本学・東京・浜松・豊橋・大垣・津・金沢・大阪・岡山・北九州

●各学部後期入試

本学・東京・浜松・豊橋・大垣・津・金沢・大阪

入試要項の変更点

1. 試験の名称が変わりました
昨年までのA、B方式から2月上旬を前期、下旬を後期としました。
2. 経済学部の入試科目が変わりました
前期入試で昨年までの3教科に加え、2教科での受験が可能になりました。
3. 外国語学部英米語学科で2月下旬の入試(後期)を新設しました
他学科と異なり、英語1教科で実施します。

長期化・多様化する就職戦線

就職協定廃止2年目となり、早期化・長期化・採用方式の多様化・少数厳選の流れのなか採用活動が行われました。

ご承知のとおり金融機関が相継いだことや金融機関の一貸し祭り現象、また、消費の低迷により各企業共、減収・減益となり企業の採用意欲が再び減退に転じました。このように日本の経済環境が最悪のなか98年度の就職戦線が始まりました。今年度の採用についての主な特徴を挙げます。

第一の特徴は採用スケジュールの前倒しによる早期化です。第二の特徴は春・秋採用、通年採用など企業の採用活動の長期化です。

第三の特徴は国籍・性別・年齢を問わないポータレス採用やインターネット採用など、各企業により採用・選考方法が多様化してきたことです。

第四の特徴は採用人数の縮小により質の絞り込みが徹底され、採用基準が量より質に変わったことです。

企業の求める人物像

非常に厳しい経済状況の中、企業が必要とするのは知力・気力・体力、このバランス感覚の上に、より専門的な知識を兼ね備えた人材を求めています。

● 本学の就職指導について

例年、3年次の6月初旬に第一回の就職ガイダンスを開催し、翌年の1月までに15回以上実施しています。

● 公務員講座について

2、3年次を対象に年間を通じたプログラムを組み、公務員講座を開催しています。

● 資格講座について

今年度より、河合塾と提携し学内で受講できるよう、次の資格講座を開設しました。

- ① 宅地建物取引主任者
- ② 一般旅行業務取扱主任者
- ③ 第一種情報処理技術者
- ④ 初級システムアドミニストレータ
- ⑤ 秘書検定一級
- ⑥ 英検一級・準一級

景気回復の兆しが見えない、実に困難な就職戦線が今後も続くと思えます。現在、社会で活躍されている同窓会の皆様には、ぜひ本学卒業生への温かいアドバイス、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

憶えていますか？

思い出のキャンパス

目を閉じると今も鮮やかに浮かぶ、懐かしい風景。皆さんは憶えていますか。あの日、学友と歩き、熱く語り合った思い出のキャンパスを...。もう一度振り返ってみませんか、あの頃を。



▲陶壁

大学正門にあるこの陶壁は、本学の建学精神「敬神愛人」がテーマ。聖書に出てくる「ぶどう」と「鳩」を背景に、指導者「キリスト」を中心に、周囲に教えを乞う信徒たちが配されています。教えを乞う信徒は、学生一人一人でもあります。1979年、地元の陶芸作家河本五郎氏をはじめ、若手陶芸作家諸氏によって製作されました。



▲噴水「双葉」

学生諸君の成長をイメージして「双葉」と名付けられたこの噴水は、麦粒苑(ばくりゅうえん)の中心に設けられています。その水には地下水を利用、聖書の「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」(「新約聖書」ヨハネによる福音書4章14節)という言葉が刻み込まれています。地元陶芸作家、加藤元男氏のデザインによるものです。



▲「合唱」

「あめにはさかえみ神にあれやつちにはやすき、人にあれや」と、高らかに神への賛美を歌う鳩輪の壁画装飾。陶芸作家、加藤元男氏によるデザインです。



▲「伝統」

「伝統」をテーマに、啓明館入口の階段斜面を利用し、その左右に配されたオブジェです。後援古窯群の中心に位置する本学にちなみ、紀元12世紀ごろ隆盛であった「登り窯」の破片を敷き詰め、古窯が抽象的に表現されています。陶芸作家、加藤元男氏によるデザインです。



▲「社人の奏」

1989年2月希望館の竣工を記念して、21回父母会卒業記念事業として寄贈されました。木下五郎氏の作によるものです。

「開花」をテーマに新しいことに挑戦!



今年も名古屋学院大学大学祭が10月31日、11月1日、3日に行われました。天気にも恵まれ、無事に開催することができました。今年メインテーマ「開花」のもとに、新しいことにチャレンジしてみようということで、初日はパレードのトリクライブ、最終日には後夜祭でトコロのゲストライブと共に野外ステージで行い、名学祭史上最高の動員数を記録しました。また母体恒例となつたステージ上の三輪車レースや、高校生を対象としたキャンパスガイダンス、二階食堂での軽音楽部によるライブ、栄光館での公開映画「ダイクシティ」特別試写会など、たくさんのイベントが行われました。名学祭の最後を飾る後夜祭では色々なイベントがあり大変でしたが、他大学の皆さんや他サークルの皆さんの協力を得て無事に終了することができました。大学祭を開催するにあたり、お世話になった方々に大学祭実行委員会一同、厚くお礼申し上げます。

名古屋学院大学「教育振興資金」募金にご協力を

会員各位には、益々隆昌のごとくお慶び申し上げます。この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています。募金趣意書に述べられていますが、大学は厳しい財政状況の中にあるけれども、教育環境の整備・充実が大学発展の条件であるとして、それらの事業資金の一助として、「教育振興資金」の募金活動を行いたい。ついては、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

本同窓会理事会におかれ、「募金協力の件」について協議した結果、母校発展の助になると思われ、募金の趣旨に全面的に賛同することを承りました。つきましては、会員各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構ですので協力いただきたくお願い申し上げます。

(平成10年11月)

名古屋学院大学同窓会 会長 占部憲

5月15日(金)の理事会において同窓会の理事・監事が下記のように選任されました。

1998年度名古屋学院大学同窓会 理事・監事

理事	占部 憲一	71E	会長	東邦アストリー(株)
理事	山本 茂一	70E	副会長	名古屋車輛(株)
理事	伊藤 博義	70E	副会長	凸版印刷(株)
理事	富田 博史	71E	副会長	(株)ティーモーション
理事	塚本 久	70E	事務局長	愛知県議員
理事	長瀬 憲八郎	71E	広報委員長	古川設備工業(株)
理事	下村 直己	73E		(株)下栄
理事	笠井 修	73E		エーワ織工(株)
理事	山田 弘一	76E		山田青果(株)
理事	古川 雅章	78E	総務委員長	和興(株)
理事	伊藤 暁	77E		伊藤製作所
理事	須崎 英晴	78E		品野台開発(株)
監事	水谷 文穂	69E		(株)三油商会
監事	生駒 豊作	70E		名古屋学院大学

名古屋学院大学さかえサテライトに
同窓会室を設置



中日ビル7階の名古屋学院大学さかえサテライト内に、同窓会室が新たに設置されました。本学同窓会会員が利用できるスペースとして解放されています。名古屋・米方面にお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

平成11年4月1日より
同窓会事務室が
移転予定!!

〒460-0006
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
TEL 052-242-5300 FAX 052-242-5341

同窓会終身会員について

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入金金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、平成8年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないということ、および、1997年3月以降の卒業生につきましては、卒業時に終身会費2万円を徴収し、それ以降の会費を請求しないこととなっております。
現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが、皆様方も是非この機会に終身会員となつて頂くことをお勧め致します。

なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であつた方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

年会費のお願い

大学同窓会には、卒業生の皆様の会費を運用されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりとした財源が必要で、なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

● 年会費 2,000円

30周年記念事業について

同窓会発足、30周年記念に於ける記念事業は、前項にてご紹介致しました様に10月17日(土)、名古屋ヒルトンホテルにおいて行われました。当日は同窓生及び、学校関係者の方々に大いに盛り上がり、無事終了する事が出来ました。これも同窓生の皆様や記念事業にご協力いただいた方々のご尽力によるものと心より感謝致しております。本誌に有難うございました。

来年度においては例年通り、大学内においてはホームカミングデーを予定致しております。正式な日時については来年度発行の会報にてご連絡させていただきます。記念事業に参加出来なかつた方は、是非とも来年度のホームカミングデーにご参加いただける様、心より願っております。

支部連絡先・活動

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。

● 関東支部

〒334-0067 埼玉原川口市大竹272-1
伊藤忠治(68年卒) TEL 048-296-70992
FAX 048-295-0379

● 関東支部・活動報告

関東支部では、年一回総会を行っています。今年は7月25日(土)に行いました。99年の総会は日時が決定次第ご連絡致します。

● 三重支部

〒519-0413 三重県度会郡玉城町妙法寺346-1
中野隆自(71年卒) TEL 0596-58-2191

● 三重支部・活動報告

平成10年 10月13日(火)
30周年記念事業についての内容説明・支部会としての対応・役割分担について話し合い、支部総会(来春3月末予定)について打ち合わせを行いました。

● 関西支部

〒544-0025 大阪府生野区生野東1-1-37
中川博雨(68年卒) TEL 06-712-13574
(中川登記測量事務所内)

● 関西支部・活動報告

関西支部では、8月22日(土)に総会を行いました。今年、菅田副会長はじめ、大学より松村入試広報課長・岡本総務課長にもご出席いただき約40名での会となりました。

● 中国・四国支部

〒712-8003 岡山県倉敷市水島明神町2146
藤原一政(71年卒) TEL 086-444-5252
TEL(携帯) 030-1175-4504
日時/平成10年12月20日(月) 午後5時
会場/岡山アークホテル

● アメリカ支部

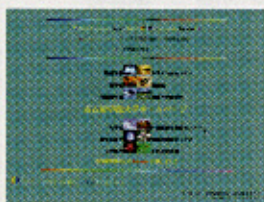
301 E.66th Ave. Anchorage, Alaska, USA
ニノ海よう子(76年卒) TEL 907-344-7087

● 同窓会事務室

〒480-1214 瀬戸市上品野町1350
直通電話(FAX兼用) TEL 0561-42-0999
月々金 9時30分~16時30分
【栄事務局】
TEL 052-242-5300 FAX 052-242-5341
月々金 1時~6時

もうご覧になりましたか?
名古屋学院大学ホームページ

96年5月の本学ホームページ開設以来、学内の情報をインターネットを通して全世界に発信しています。このホームページを見るだけで母校の「今」がすぐわかる内容です。まだ見ていない方は一度アクセスしてみたいかがですか。



● ホームページアドレス
(日本語)
<http://www.ngu.ac.jp/index.html>
(英語)
<http://www.ngu.ac.jp/index-eng.html>

同窓会員の皆様へ注意

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、気を付けて下さい。

編集スタッフ
事務局 下村直己(71年卒)・山本茂一(70年卒)
事務局 長瀬憲八郎(71年卒)
事務局 中川 隆・坂本紀子・豊田登志子